

No. 1	震災に関すること
意見・質問・要望等	市民センターの建物が被害にあっている。新たに建設すれば20数億円かかると聞いているが、財政的にも大変な時期である。新たに建設せず、今ある施設を利用できないか。色々市民からアイデアを出してもらい、お金をかけないでやれないか。【北郷地区】
当日の回答	財政的にも大変な時期ですが、角田市の文化振興のため、市民の代表の方でどのような施設にすれば良いかなど、委員会を設置して検討しています。
今後の取組み	市民センター大ホール棟は、東日本大震災により施設利用が不可能になるほど甚大な被害を受けました。現在閉鎖しており、市民の文化活動に支障をきたしている状況であり、市民センターの早期改修と利用再開について多くの要望が寄せられていることから、市としては早急に施設機能の回復を図るため改修を実施いたします。 改修にあたっては、本市の文化活動等の現状、厳しい財政状況を考慮した《現状に見合った施設》、各種事業や市民の自主的な活動に対応できる《使い勝手の良い施設》、今回の震災の教訓から《防災拠点(避難所)となり得る施設》を基本方針とし、類似施設の視察、利用状況の分析、利用団体等へのアンケートのほか、「市民意見交換会」での意見を踏まえ改修を進めてまいります。【市民センター整備室】
No. 2	ゴミに関すること
意見・質問・要望等	ゴミ問題の件ですが、燃やせるプラスチックごみの処理はどの様になっているのか。【角田地区(田町ブロック)】
当日の回答	容器包装リサイクル法に基づき、最終的には県の方に持っていき燃料として処理していると伺っております。
今後の取組み	容器包装プラスチックについては、市が収集した後、仙南リサイクルセンター(蔵王町)へ搬入します。異物を取り除き、ベール(かたまり)にした後、容器包装リサイクル協会を通じてプランター、パンフレットなどに再商品化されます。その他のプラスチックについても仙南リサイクルセンターへ搬入し、委託業者を通じて固形燃料に再商品化されます。【生活環境課】
No. 3	ゴミに関すること
意見・質問・要望等	今年の7月からごみ有料化になるので、住民や避難者にも説明会を実施してほしい。ポイ捨てやレジ袋で出す人が今後多くなるのではないかと心配している。【角田地区(北ブロック)】
当日の回答	市当局に伝え、検討してもらいます。
今後の取組み	ごみ有料化出前講座については、各地区・各団体から申し込みをいただき、市の担当者が各地区へ出向き、随時実施しております。7月1日からスタートするごみ有料化に向けて、まだ出前講座を開催していない地区については、今後実施していただくよう個別に要請して参ります。【生活環境課】

No. 4	ゴミに関すること
意見・質問・要望等	新丁東行政区はアパートが130戸あり、アパートの住民の中にはごみの問題も責任感がない方がおり、困っています。【角田地区(北ブロック)】
当日の回答	難しい問題です。当局に伝えます。
今後の取組み	ごみの分別等については、ごみ分別出前講座やパンフレット、市の広報、ホームページ等でお知らせしていますが、各地区のごみ集積所では、ごみが適切に出されていないケースが見受けられます。地域の快適な生活環境を損なわないよう、ごみの分け方と出し方について、今後も引き続きごみ分別出前講座や広報等と呼びかけて参ります。【生活環境課】
No. 5	ゴミに関すること
意見・質問・要望等	芋坊林道付近に、不法投棄と思われるようながれきを搬入していると聞いているが本当か。【小田地区】
当日の回答	確認します。
今後の取組み	不法投棄をされている箇所は無いようですが、不法投棄の防止策として、市職員や森林巡視員等によるパトロールの実施や、常習場所への防止看板の設置など、各環境衛生組合長や各行政区長と連携を図りながら、防止策に努めます。【生活環境課】
No. 6	(仮称)仙南クリーンセンターに関すること
意見・質問・要望等	ごみ焼却炉について、仙南3郡のゴミがくるようなことを聞いたが、その後どうなっているのか。
当日の回答	(仮称)仙南クリーンセンターは、西根の毛萱地区に建設することに決まりました。地元対策費は約6.6億円で、平成28年夏に供用開始の予定です。
今後の取組み	仙南2市7町のごみ焼却は角田衛生センターと大河原衛生センターで処理していますが、両施設とも老朽化しており、これを統合して新たなごみ焼却施設を平成28年度に西根の毛萱字西ノ入地区に建設し、供用開始したいということで現在、その作業を進めています。衛生処理施設(ごみ焼却施設、し尿処理施設、リサイクルセンター、最終処分場)の建設場所については、仙南3郡で役割分担して設置することになっております。【生活環境課】
No. 7	(仮称)仙南クリーンセンターに関すること
意見・質問・要望等	なぜ、毛萱丸森地区から毛萱西ノ入地区に変更になったのか。また、ダイオキシンは大丈夫なのか。【小田地区】
当日の回答	毛萱丸森地区まで行く搬入路の建設費がかさむことや、山を切り開くため環境保護や自然災害等も心配されます。また、構成市町の財政負担軽減、さらには平成25年3月に金ヶ瀬さくら大橋が完成し、ゴミ搬入の便が良くなります。 ダイオキシンは、ゼロではないが、ほとんどありません。0.01ナノグラム(10億分の1)程度です。
今後の取組み	質問・要望に対する回答は、議員回答のとおりです。ダイオキシン類の排出濃度の国の基準値は0.1ナノグラムとなっておりますが、(仮称)仙南クリーンセンターは、それよりもさらに厳しい基準値0.01ナノグラムを設定する予定であります。また、平成28年度稼働に向け、用地購入や造成工事、本体建屋建設などの事業が今後、本格化することになります。【生活環境課】

No. 8

小・中学校に関すること

意見・質問・要望等

東根のコミュニティを守るために伺うが、東根小の今後にどんな方針持っているのか伺いたい。【東根地区】

当日の回答

今現在は、統廃合の話は出ていない。4Km範囲が望ましいという事だが、今後大きな課題だと思います。

今後の取組み

地元東根財産区の木材を使用した特別教室棟を建設しており、資源循環と森林循環の仕組みを学び、日常生活においても、環境活動を実践していくことを計画しています。また、HPや学校・自治センターだより等を通して、学校行事の様子や校内の風景を情報発信するなど、学校をより身近に感じることができ、保護者や地域住民が関心を持つことができる学校をも目指しています。

なお、統廃合等の計画については、現在のところ予定はありません。【教育総務課】

No. 9

市民センター・図書館に関すること

意見・質問・要望等

いつから市民センターが使用可能となるのか。民謡発表会を毎年6月に行っているが、市民センター大ホールが使用できないので、小田小学校体育館を使用できないのか。【角田地区(老ヶ先・豊室ブロック)】

当日の回答

平成27年度から使用可能となる計画です。小田小学校の体育館の使用については検討するように伝えます。

旧小田小学校体育館は現在小田自治センター体育館としてご利用いただいております。【生涯学習課】

意見・質問・要望等

①災害復旧について、国の指針が定まっていなかったところではあるが、市民センター大ホールを早く修繕して欲しい。市民の会をつくり、様々な所を見学しているが、良いものを作って欲しい。

2月6日頃、可動式で600席ぐらいという青写真が出るらしいが、議員はどの様な内容をつかんでいるのか。

②河北展等も場所がないという理由で角田市には来ない。角田市で産まれた第9演奏会も角田で出来ない。舞台の問題。奥行きも現状より広くして、なんとかいいものが出来るよう、強く要望する。

③アンケートはどれくらいの数でどこでとったのか。本当に今、大ホールが必要なのか。ランニングコストの問題、これから市民の大きな負担になるのではないのか。既存の施設を使用すれば良いのではないのか。また、えずこホールへバスを出してはどうか。色々な面を考えると、作るより他の施設を活用した方が経済的だ。【角田地区(東ブロック)】

当日の回答

①市民センター大ホールを早急に使用できるようにしてほしいという声は、音楽関係の方、ダンス愛好会の方等様々な方々から聞こえています。当局は、市民センターの復旧工事については、アンケートや意見交換会を開いていると聞いています。

②2月8日に図面が出ると思います。多くの市民に公開できるようにします。ただ、この時期なので、どのくらいのものが出来るのかは分かりません。まず、要望として当局に伝えます。

③当局に伝えます。

今後の取組み

①市民センターの早期改修と利用再開について多くの要望が寄せられています。改修にあたっては、利用団体等へのアンケート調査、類似施設の視察、利用状況の分析のほか市民意見交換会などの意見を踏まえ市民センター改修基本計画及び基本設計がまとまり、市民センター、各自治センターまた市のホームページで公表しております。平成25・26年度においてホール棟改築及び研修棟耐震・改修事業を完了する計画としております。

②舞台機構につきましては、被災した大ホール棟の舞台機構の問題を踏まえ、舞台の広さや舞台装置、音響設備や照明等の検討を加え整備を図ります。

③市民センター基本計画策定にあたり、市民センター利用団体70団体にアンケート調査を実施いたしました。回収率は44団体63%であり、アンケート調査のご意見等を基本計画策定に参考とさせていただきます。アンケート調査の結果につきましては基本計画の中で公表しておりますのでご覧いただきたいと存じます。

東日本大震災で被害を受け現在閉鎖しており、市民の文化活動に支障をきたしている状況であり、市民センターの早期改修と利用再開について多くの要望が寄せられていることから、市としては早急に施設機能の回復を図るため改修を実施いたします。

改修にあたっては、本市の文化活動等の現状、厳しい財政状況を考慮した《現状に見合った施設》、各種事業や市民の自主的な活動に対応できる《使い勝手の良い施設》、今回の震災の教訓から《防災拠点(避難所)となり得る施設》を基本方針とし整備を図るとともに、施設の管理運営方法についても十分な検討を重ねてまいります。【市民センター整備室】

意見・質問・要望等

- ①市民センター建設にあたり、避難所としての役割はどうなるのか。また、市民センターの大ホールの規模はどれくらいか。角田小学校の生徒(約630人位)が、全員利用できるような座席を考えてほしい。
- ②市民センター建設完成後は少なくとも40～50年利用するので、使いやすい施設、喜ばれる施設に造ってほしい。もし、予算が不足を生じた場合、角田市独自の予算を使っても立派な施設にしてほしい。文化的機能を持った建設を望むとともに専門家の考えも聞いてほしい。【角田地区(北ブロック)】

当日の回答

- ①避難所としての位置づけは変わりません。改修にあたり、停電時の対策として太陽光発電蓄電システムや避難物資保管を考えているようです。
また、新しい大ホールについては、椅子は折りたたみ・可動式で、平場を広く使用できるように考えています。座席数は約600～700席を確保する計画でいるようです。
- ②今回の市民センター改修基本計画(案)では、緊急防災減災事業債を財源とするため、地域住民の避難所としての目的がありますが、利用については今までの市民センターと同じく利用できると考えられます。概算事業費で20億5千万円くらいです。

今後の取組み

- ①市民センターの避難所としての役割は変わりません。東日本大震災を教訓として、今回の改修において、災害時には避難所や救援物資の受入れ施設として対応可能な防災拠点(避難所)として機能拡充を図ります。
大ホールの座席数は、1階が可動席約500席、2階が固定席約100席の合計600席以上を確保する予定です。
- ②改修にあたっては、利用団体等へのアンケート調査、類似施設の視察、利用状況の分析のほか市民意見交換会などの意見を踏まえ、各種事業や市民の自主的な活動など多目的に利用可能な機能性・利便性に配慮した「使い勝手の良い施設」として整備を図ります。
また、改修にあたっての財源ですが、国の「緊急防災・減災事業債」等を活用し実施する計画であり、本市の厳しい財政状況を考慮した整備を図ります。【市民センター整備室】

意見・質問・要望等

①市民センターの改修計画を教えて欲しい。

②バツハホールのような音楽にも使えるホールにすべきで、今のは音響効果が悪い。今度造れば半永久的になると思うので、削らずに音響効果が悪いとえずこホールに逃げていくので、音響効果のいいホールにして欲しい。【桜地区】

当日の回答

①被害が大きかったのは大ホールで、補強では間に合わないので、解体してホールだけは造ろうという流れになっています。第一会議室、第二会議室、クラブ室、和室などについては耐震調査をして補強をします。

築40数年の体育館を解体し、そこにホールを造ろうという計画が生涯学習課のほうで進められていると聞いており、調査設計に関わる予算を(来年度の予算に)計上したいということです。

検討委員会のようなものを立ち上げ、15人ぐらいの委員さんが審議をしていると聞いています。これまでは500人までしか入れなかったが、600人～700人の会合が開かれているのでそれぐらいにして欲しいとか、河北展が角田に場所がなくて来れなかったということもあり、美術展や書道など展示する場所が欲しいとか、音楽会を開きたいなど要望が出ているようです。

国からどれだけ予算が来るか、市の単独でどれだけお金が出せるかで大きさが決まるようです。また、ホールだけでなく、第一会議室などの部分も含め全体で考えなければいけないという意見もでていようで、今まさに検討中です。

ただホールだけは体育館のところに造ろうということに決まったようで、12億円～15億円ぐらいのホールを造るという方向になってるようです。

②音楽関係の方もまさに同じことを言っています。舞台の裏に反響板がないと音色としても音楽ホールとしてもいいものではないので、反響板だけは是非ともいれてくれという意見が出ているのでできると思います。

いすは、可動式にしないと展示室とかのスペースがとれないので稼動式にすべきという意見とそれではがたがたしてだめだという意見があります。

市長の意見は交流人口を増やすということなので、角田の市民のかただけが楽しむのではなく近隣市町から来て頂きたいという交流人口を増やすためのものであってほしいと話しているので、みなさんの意見をどんどんぶつけて欲しいと思います。

今後の取組み

①大ホール棟は、震災の被害を受けた現在の施設を解体し、研修棟西側に接続させる形で改築いたします。このため、研修棟西側にある屋内運動場は解体します。ホール棟の改築にあたっては、講演やコンサートなど多様な利用形態に対応できるよう1階部分は可動席とし機能性・利便性に配慮した文化ホールの機能を有するとともに、災害時の防災拠点(避難所)としての機能を有する施設として整備を図ります。

また、既存の研修棟は、現行の耐震基準に基づく耐震性能を確保するよう耐震補強を行います。併せて震災の教訓から防災拠点(避難所)としての機能を有する施設として改修を行います。市民センター改築・改修事業は、平成26年度の完成を目標としています。

②大ホールの音響設備につきましては、音楽や演劇等の発表会、各種講演会、映写会等舞台を利用した催事や、ダンス等大ホールを利用した催事等様々な利用形態に対応可能な音響設備を検討してまいります。【市民センター整備室】

意見・質問・要望等

子ども図書館ができたが、使用している人が少ない。沢山の人が使用するよう策を考えるべきだ。また、図書購入費が600万円くらいかかっているが、古本等を収集してもらったらどうか。募集したら結構集まると思う。蔵書として13万冊ぐらいあるようだが、旅行ガイドブック等は古くなれば見ない。

小さな子どもの親は共働きが多く、平日ではなく休日の利用が多いのではないか。活用方法を考えて欲しい。【角田地区(東ブロック)】

当日の回答

持ち帰り当局に伝えます。

今後の取組み

子ども図書館の利用は1日平均50名程度の来館者があり、保育所や幼稚園の幼児が来館し利用する機会も増えています。また、子ども図書館は絵本中心の図書館ですが年間で30,000冊を超える貸出があり、土曜・日曜の休日には親子や家族での利用が多くなっています。今年度も絵本の読み聞かせやミニコンサートを予定しておりますが、年齢を問わず多くの市民の皆さんが来館されるよう、さらに工夫していきたいと考えています。資料の収集については図書館では、一定の基準を設けて選定購入を行っていますが、市民の皆さんの要求や関心、地域社会の状況を把握し時宜に適した資料は時機を失わずに提供できるよう努めています。その一方地域に関する郷土資料については一定期間を経過したものでも網羅的に収集したいと考えており関連の資料を寄贈いただくのは大変ありがたいことです。最近の図書館の利用は、読書の楽しみだけでなく、年金や税等の社会経済、健康や育児、介護など日常生活に密着した資料の利用が多くなっています。こういった変化の中で市民の皆さんの役に立つ新しい情報を提供していくことが図書館の重要な仕事と考えています。なお図書館は土曜・日曜の休日は通常開館(月曜日が休館)しておりますので、どうぞご利用ください。【図書館】

意見・質問・要望等

友好都市目黒区との絆を大切に交流を続けるべきと思いますが、目黒家の墓所の道案内もなく、墓の管理も不行き届きになっている。歴史的資産を有効活用できるよう、対応をお願いしたい。【枝野地区】

当日の回答

ごもつとです。当局に伝えます。

今後の取組み

歴史資産の有効活用は大切なことと考えていますが、当該墓所は、個人の所有地であり、個人管理となっていることから、市が直接かかわることができません。しかし、以前、目黒区との交流事業の際に、地域の方がボランティア活動で清掃活動をした経緯があります。今後もこのような取り組みを推奨したいと考えています。なお、道案内については、他の文化財や観光地との関係がありますことから、それらとの整合を取りながら計画化していきます。【生涯学習課】

意見・質問・要望等

金津中学校野球部の全国大会出場が決まった。角田市の震災復興元年にとって明るい話題だ。旅費等のご支援をいただきたい。【枝野地区】

当日の回答

震災復興に向けて力強い話です。教育委員会に相談してみます。

後日、スポーツ振興事業助成補助金交付の対象になる旨、質問者に連絡しました。

今後の取組み

議員の回答のとおりです。【生涯学習課】

No. 16	救急・救命に関すること
意見・質問・要望等	小田地区の97歳の女性の方が、救急車で搬送されたが、受入先の都合で家に戻ってきた。どうなっているのか。 また搬送された場合でも、救急車が来るのは早いですが搬送が遅い。 【小田地区】
当日の回答	救急車の記録がありますので、調査します。
今後の取組み	現場の滞在時間が長い理由として、傷病の状況により、受け入れ搬送先を確定するのに時間がかかることが考えられます。【健康推進課】
No. 17	みやぎ県南中核病院に関すること
意見・質問・要望等	将来、救命救急センターになるが、構成市町の負担が多くなるので、出資外の市町から来た患者の費用負担を多くするべきではないか。 【小田地区】
当日の回答	医療に垣根はないので、それは仕方ないと思います。
今後の取組み	費用負担については、診療報酬に基づいて算定しておりますので、救命救急センターに対する出資の有無にかかわらず、負担金額は同じになります。【健康推進課】
No. 18	健康推進に関すること
意見・質問・要望等	角田市は自殺者が多い。特に30～40歳台という若い方が多い。担当課だけでは大変だと思う。縦組織を超えて、市長直轄の組織を作って対応したらどうか。【角田地区(東ブロック)】
当日の回答	自殺予防対策推進協議会を立ち上げ検討しています。議会でも一般質問等が出されていますが、今後ともしっかりと取り組んでいきます。
今後の取組み	平成23年度に「角田市自殺予防対策推進計画」を策定しました。自殺予防に関連があると思われる関係各課と調整のための連絡会を設置し、横の連携を取りながら自殺予防対策を推進していきます。 【健康推進課】
No. 19	健康推進に関すること
意見・質問・要望等	角田市は自殺者が多いのではないかと。市ではどのような対策を講じているのか。【横倉地区】
当日の回答	①一人で悩まないよう支え合うことが必要です。支え合う術や保健衛生教育に力を入れてはどうかと思います。国は、「ゲートキーパー制度」といって、悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る人を養成することに力を入れているが、実効性のあるものにしていかなければなりません。角田市の風土にも問題があるのかもしれませんが。
	②「平成19年及び21年には県内ワースト3の自殺死亡率となっています。角田市では平成18年10月に施行された「自殺対策基本法」に基づき、角田市自殺予防対策推進計画「かくだ 心をつないで生きようプラン」の策定を進めており、この度、素案がまとまりました。市民の皆様とともに自殺予防対策を総合的かつ効果的に推進していくために、ご意見・ご提案等を募集しているところです。
今後の取組み	平成23年度に角田市自殺予防対策推進計画を作成し、ダイジェスト版を各戸に配布いたしました。平成32年度を目標に関係機関との連携を強化し、市民の皆様とともに自殺予防対策を推進し、自殺者ゼロを目指します。今後の主な取り組みとして次の3点です。 ①ストレスと上手につき合う方法を学ぶための研修会の開催 ②ゲートキーパー(命の門番)養成講座の開催 ③自死遺族会等の情報提供【健康推進課】

意見・質問・要望等

①子育て支援策が遅れている。また若い人たちがなぜ角田に住まないのか。長期総合計画に示されたが、対策、方策について議論されているのか。

②角田に行けば安心して住めるという環境作りが必要ではないか。
【東根地区】

当日の回答

①保育時間の延長をはじめ、子供を預ける条件は良くなっており待機児童も現在、少数となっています。ただ、もっと角田の魅力を出す必要があると考えています。

②保育そして教育と一貫した子育てに向け、福祉・教育の連携改善は動き出しています。

今後の取組み

①子ども医療費の拡大や保育料の引き下げを実施したところであるが、今後も角田市に安心して住めるような子育て支援策を推進して参ります。

②子育て環境の充実を図り、様々な子育て支援策を推進して参ります。【子育て支援課】

意見・質問・要望等

現在高齢化率26.3%で、今後さらに高齢化が進む中で、どうやって住みよいまちをつくるのか。年金中心の生活者が増えれば税収も落ち込むだろう。市では高齢化対策をどう考えているのか。例えば、みやぎ県南中核病院は、紹介状がないと診てもらえない。気軽に行けるようにしてほしい。何とかならないか。【横倉地区】

当日の回答

みやぎ県南中核病院ができて10年になります。中核病院はあくまでも地域支援病院です。地元の医師を支援する病院ということで始まっているので、ご理解をいただきたいと思います。

今後の取組み

みやぎ県南中核病院は、高度で専門性の高い二次救急病院として、地域の医療機関と連携して役割を分担しながら診療にあたっております。高度な医療等が必要な場合にみやぎ県南中核病院に紹介となります。この体制は地域医療をまもり、本来の救急医療や、高度専門医療等の機能を果たすために必要です。その趣旨をご理解いただきたいと思います。【健康推進課】

生涯健康で過ごすことは市民誰しもの願いでありますので、第5次長期総合計画や角田市高齢者福祉計画(平成24年3月策定)に基づき、高齢者の社会参加や生きがいづくり、介護予防、健康づくり等を推進すると共に、地域で支えあう仕組みづくりや介護サービスの充実を図り、心と体の健康を保ち、できるだけ人の手を借りずに居宅において自立した生活ができるよう対策を講じていきます。【社会福祉課】

意見・質問・要望等

西小坂には独身男性が多い。合コン等の話は無いものか。【東根地区】

当日の回答

年に1回くらい商工会青年部において実施してはいますが、もっと他の自治体に広く働き掛け新しい仕掛けが必要と感じている。

今後の取組み

宮城県青年会館が行う結婚情報サービスセンターPISAの会があります。この会は、会員になると交流会等の開催があり、チャンスが生まれますので紹介しております。【生活環境課】

